

【TGLプログラム】報告書作成ガイドライン

グローバルリーダー認定報告書作成ガイドライン

以下1、2について、自己の成長を分析し、深い考察をもって振り返り、まとめられていること。

1. TGLプログラムで定義する「3+1」

- TGLプログラムで定義する「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の全てについての学びが記載されている。
- 学びが自分の言葉で具体的な事例を示しながら書かれている。
例：異文化を理解することの重要性を学んだ
→ どのような場面でどのような経験をしたかという異文化の重要性を理解へと繋がったか具体的な例を挙げて説明している。
- 活動日記のような報告でなく、学びおよび能力の修得(=成果)の視点から報告書がまとめられている。
- 段落、まとめ方等、読み手を意識したわかりやすい構成となっている。

2. 専門分野での学び

- 専門分野の学びについて、専門外の人にもわかりやすい言葉で表現できている。
- 卒業後、グローバルな社会における自身の目標(将来の目標)をしっかりと提示している。
- (上記で提示した)将来の目標に向かうために、今まで自身の所属学部で修得してきたスキルや専門知識をどのように活かしていくか具体的に述べている。
- 将来の目標に向かうために、今までTGLプログラムで修得してきた「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の経験をどのように活かしていくか具体的に述べている。

TGLプログラム修了報告書作成ガイドライン

1. TGLプログラムで定義する「3+1」

- TGLプログラムで定義する「3+1」(語学力・コミュニケーション能力、国際教養力、行動力、海外研鑽)の全てについての学びが記載されている。
- 学びが自分の言葉で具体的な事例を示しながら書かれている。
例：異文化を理解することの重要性を学んだ
→ どのような場面でどのような経験をしたかという異文化の重要性を理解へと繋がったか具体的な例を挙げて説明している。
- 活動日記のような報告でなく、学びおよび能力の修得(=成果)の視点から報告書がまとめられている。
- 段落、まとめ方等、読み手を意識したわかりやすい構成となっている。

【グローバルリーダー認定報告書 様式見本】

グローバルリーダー認定報告書【2020年度前期】

提出日：2020年 6月 日

学籍番号	学部・学年	学部	年	氏名
------	-------	----	---	----

<報告書作成上の注意>

以下のことを満たさない場合は、グローバルリーダーとして認定されませんので、注意してください。

1. 【TGLプログラム】報告書作成ガイドラインに則って記載していること。
2. 誤字・脱字がないこと。
3. 文字数の条件を満たすこと。

※ フォントはMS Pゴシック10サイズ（デフォルト）とし、指定文字数に収め印刷した際に枠内に収まるよう確認すること。

※ 入力した文章が指定文字数の範囲内であるか、以下の手順で確認する。
①メニューバー「ツール」→「文字カウント」→「入力中に文字数を表示」→「OK」→画面右下に文字カウントが表示される。
②入力した文章を範囲選択すると、選択範囲内の文字数が表示される。

※ 枠内で改行したい場合は「shift+改行」を押す。

※ 報告書記載の際は、課題の添付資料「【TGLプログラム】報告書作成ガイドライン」「GL認定報告書作成説明会」を参照すること。

※ 「3+1」の語学・コミュニケーション力、国際教養力、行動力については、課題の添付資料「グローバル人材力項目一覧」を参照のこと。

P1

1. TGLプログラムで定義する「3+1」

TGLプログラムで学んだ「3+1」（語学・コミュニケーション力、国際教養力、行動力、海外研修）について、**ポイントを取った授業や課外活動を中心に学びの成果および今後の目標を具体的に**記入してください。（2000～2500字）

P2

2. 専門分野での学び

専門分野で修得した（または今後修得したい）知識・経験・スキルを具体的に述べ、**グローバル社会で活躍するためにどのように活かしたいか**について記入して下さい。（1000-1500字）

P3

<提出前に確認してください>

■最新の「TGLポイント確認表」は確認しましたか？ はい いいえ

【参考】TGLポイント取得状況の確認（TGLポイント確認表）

<http://www.inse.tohoku.ac.jp/japanese/global/point/report/>

P4

【TGLプログラム修了報告書 様式見本】

TGLプログラム修了報告書【2020年度前期】

提出日：2020年 6月 日

学籍番号		学部・学年		学部 年		氏名	
------	--	-------	--	------	--	----	--

<報告書作成上の注意>

以下のことを満たさない場合は、TGLプログラム修了者として認定されませんので、注意してください。

1. 【TGLプログラム】報告書作成ガイドラインに則って記載していること。
2. 誤字・脱字がないこと。
3. 文字数の条件を満たすこと。

※ フォントはMS Pゴシック10サイズ（デフォルト）とし、指定文字数に取め印刷した際に枠内に収まるよう確認すること。

※ 入力した文章が指定文字数の範囲内であるか、以下の手順で確認してください。

①メニューバー「ツール」→「文字カウント」→「入力中に文字数を表示」→「OK」→画面左下に文字カウントが表示される。

②入力した文章を範囲選択すると、選択範囲内の文字数が表示される。

※ 枠内で改行したい場合は「shift+改行」を押す。

※ 報告書記載の際は、課題の添付資料「【TGLプログラム】報告書作成ガイドライン」を参照すること。

P1

TGLプログラムでの活動を振り返り、力を入れた点を中心に、活動を通じて得られた成果について、下枠内に記入してください。【300～500字程度】

<提出前に確認してください>

■最新の「TGLポイント確認表」は確認しましたか？ はい いいえ

【参考】TGLポイント取得状況の確認（TGLポイント確認表）

<http://www.inse.tohoku.ac.jp/japanese/global/point/report/>

P2